



第 17 刊
 2015 年 8 月 31 日発行
 Tsukuba for 3.11
 編集長：瀧田溪吾
 題字：小中大地

| | | | | | |
|---------------|---|----|-----------------|---|----|
| ～目次～ | | | | | |
| なごそ夏まつり&街歩き | … | P1 | メンバー紹介 | … | P5 |
| 福島ジュニアフェスティバル | … | P2 | しゃべり場・常陽新聞 | … | P6 |
| 出張授業 | … | P3 | おすすめスポット・イベント紹介 | … | P7 |
| リレーインタビュー | … | P4 | お楽しみコーナー・編集後記 | … | P8 |

毎年人気のサンバパレード



メインストリートを練り歩く
いわき踊りの参加チーム

2015年7月25日に行われたなごそ夏祭りに、運営スタッフのボランティアとして参加しました。夏祭りのオープニングを飾るサンバパレードの警備や、今回で33回目になるいわき踊り勿来大会の参加チームの誘導や間隔調整などを担当しました。特にいわき踊りでは、参加チームを率いつつ約500メートルの道のりを1時間ほどかけて練り歩きました。「どんわっせ」の掛け声と共に参加チームや観客の一体感が増し、街がどんどん盛り上がっていくのを実感しました。天気も良く、祭りは終始和やかな雰囲気で開催されました。

なごそ夏祭り&街歩き

翌日の26日には、10月に開催される街歩きのイベントに向けて、プレ街歩きを行いました。3コースに分かれて勿来の街を歩いてみると、話で聞いていた場所と実際の様子とがつながる場面が多々ありました。また現地の方々からたくさんのお話を聞くことができ、勿来のまちについてより深く知ることができました。これからも勿来の方々とは様々な形で関わっていきと思いますが、今回の街歩きで得た経験を活かして行動していきたいです。最後に、2日間お世話になったなごそ復興プロジェクトの皆様、街歩きを企画してくださった芝浦工業大学の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

担当：高取美央



なごそ復興プロジェクトの方々、芝浦工業大学の方々とともに約2時間かけて勿来のまちを巡りました。

福島ジュニアフェスティバル

7月12日、筑波学院大学の学生との協力のもと（第
一回福島ジュニアフェスティバル）を開催しました。

被災した子供たち同士の「つながり」を持ってほしい
との思いから企画されたこの会には13名のこどもたち
が参加してくれました。午前中は、筑波大学の斬桐舞
やダブルダッチサークルのパフォーマンスを、午後は
学生の企画した人間知恵の輪やドッチビーなどのレク
リエーションを大学生も交えて楽しみました。



最初は知らない人たちばかりでこどもたちも緊張し
た面持ちだったのですが、大学生の準備した遊びを通
して多少は打ち解けたのか、徐々に笑顔が見られるよ
うになり、最後の『ドッチビー』では各々に満面の笑
みを見ることができました。むしろ企画した僕らが元
気をもらえたくらい、いいイベントになりました。

もし機会があれば、またこのイベントを企画したい
ものです。参加してくださった皆さん、イベント実
施に携わってくれた皆さん、ありがとうございました！

担当：野中駿宏

Tsukuba for 3・11 出張授業

～in湘南～

2015年7月14日（火）、私たちは神奈川県藤沢市にある湘南学園高等学校にて出張授業を行いました。当日は、Tsukuba for 3・11の活動紹介や東日本大震災の概要、なごろ復興プロジェクトが中心になって推進している防災緑地事業に関する授業を行いました。



出張授業の様子。多くの質問が出て、予定より30分延びました。



防災緑地に使用されるドングリの苗木。現在、いわき市内はじめ全国各地で生育中。



このような活動は私たちにとって、初めての試みだったため、高校生がどれくらい興味を想像が付きませんでした。しかし、授業中は熱心にノートをとる、質問をするなど積極的に授業へ参加する姿勢が見られました！また、私たちにとってもやりがいを感じられ、収穫の多い活動となりました。震災の風化防止という意味でもこのように「伝える」活動をこれからも継続したいと思います。

（お問い合わせは「チヲ」まで!! tsukubafor311@gmail.com）



復興民への思いをつなぐ つくしまリレーインタビュー



今回は、Tsukuba for 3.11が発足当初からお世話になっている土浦市の日辻美香さんにお話を伺いました。仙台出身の日辻さん。東日本大震災によって、親戚の方が津波で亡くなったり、原発事故の影響を受けられたりしています。震災が身近にあったことで自然と支援活動をはじめることになった彼女の、これまでの活動やその思いについて話していただきます。

「2011年3月11日の震災が発生して間もなく、避難所に物資を送ることで被災地の支援を始めました。様々な物を必要とする避難者、被災者。何か送りたいけれど何を送れば良いか分からない支援者。避難者が必要とするものがきちんとその人のもとへ届けられるよう、マッチングの役割を担いました。個人の力に限界を感じたため活動を転換し、土浦に避難されている避難者の方々を対象にお茶会などの交流会を開いたり、個別訪問を行ったりするようになりました。こうした中で実感した問題は、子供を持つ世帯に比べて、お年寄りの方々は避難先のコミュニティに馴染むのが難しいということです。どのようなフォローが必要であるのか、考えていかなければなりません。もう一つ、支援活動の中で感じた問題は、支援する側への物理的・経済的なフォローアップがないということです。支援活動は続けるということが要となりますが、そのためには精神力や体力といった様々なパワーが欠かせません。今は、

本当に必要なところにマンパワーが無いということを感じています。今後について、被災者一人のニーズを満たすためには、支援者どうしの横のつながりが必要であると考えます。一方で、被災者と一定の距離感を保った支援を行うことも大切です。そんなことを心がけながら、避難者がコミュニティに溶け込みやすくなるような橋渡しの役割を担っていけたら、と思います。」

最後に、大学生など若い世代に望むことは何かを尋ねたところ、「一年に一回でいいから3・11に思いを寄せて欲しい」とおっしゃっていました。しかし、やはり現場を実際に見ることの大切さを強調されていて、「旅行でもいいから東北に行ってほしい、現場を見ることで何か感じてほしい、また5年というタイムラグを色んな意味で感じてほしい。」とのことでした。さらに、被災者と支援者、政府の間で様々な問題が起きていることに触れて、「このような経験（震災）は誰もか初めてのことであるから当然。若い世代がこの国の未来について考えるきっかけになれば良い。」とし、「社会人になる前だからこそ、知らないということを力に変えて失敗を恐れず色んなことに挑戦してほしい。」とも話してくださいました。

日辻さんは、Tsukuba for 3.11の活動が他の大学生の希望になるのでは、と私たちの活動に期待を寄せてくださっていました。何が必要とされているのかを見極めながら、今後の活動も精力的に行っていきたいと思いました。

オンちゃん編

生物資源学類2年のオン碧さんです！

オンちゃんは今年度からこのTsukuba

for 3.11のメンバーとして活動しています。

いつも明るく元気なオンちゃんは

みんなのムードメーカーです！

下の写真は、いつも元気なオンちゃんです！



つむつむ編

今回はインタビュー形式でメンバー紹介をしていきたいと思います！
お名前を教えてください。

室) 室井紘です！つむつむと呼ばれることが多いですね。

所属、出身地はどこですか？

室) 生命環境学群生物資源学類2年生で群馬県出身です。

好きな色は何ですか？

室) 青

趣味はありますか？

室) あります。

休日は何をされているんですか？

室) アウトドア派なので、とりあえず家の外に出て後は直感でどこへ出かけるか決めることが多いですね～ 先週は美術館巡りをしていました。

特技はありますか？

室) 特技と言っているのか分かりませんが、高校の時、部活動でかるた、百人一首をしていました。

珍しいですね。室井さんの中で好きな歌を教えてください。

室) 嵐のHappinessですね。とても前向きな曲で元気つけられるので大好きです！！受験勉強や辛いときによく聞いていました。

いえ、好きな百人一首の和歌を教えてください。

室) 音に聞く高師の浜のあだ波は かけじや袖のぬれもこそすれ
祐子内親王家紀伊

好きな食べ物は何ですか？

室) ホルシチ、異獣豚、フォー
東側陣営の料理は何でも好きですね。大量生産ではない温かみのあるものが多いです。

嫌いな食べ物は何ですか？

室) ハンバーガー、寿司、フォアグラ
資本主義の国で作られた料理は儲けることが優先で、どれも同じ味がしますね。

春学期のテストはどうでしたか？

室) はっきり言ってまったく自信がないです(笑)。一応、文房具を持って机に向かっただけなのですが、ぼーっとしている時間が長かったように感じます...

文房具はこのメーカーを使っていますか？

室) そこを聞かれたのは初めてです(笑)。今、見てみましたが、三菱が主で、ペンテル、セブラのものもありました。

三菱を使われているということですが、どのタイプですか？

室) ユニ アルファゲルを愛用しています。

同じメーカーのシャープペンシルであれば、クルトガが有名ですが...?

室) はい。そちらも使ってみたのですが、アルファのホールド感の方が心地良いんです。ずいぶんと文房具に関して質問されていますが、記者さんもお詳しいんですか？

はい。私、文房具に関しましては並々ならぬ情熱をもっていて、コレクションも相当なものです。

室) 何かきっかけのようなことがあったんですか？

小学校入学当初の話なのですが、私は引込み思案で人見知りなものでしたから、すぐには友達ができなかったんです。休み時間などは仲の良いもの同士で固まっていますから、私は何もすることがなくて暇でした。そこで手近にある文房具で遊んでみるうちに興味を持つようになったんです。関心がそちらに向いてからは早くは早かったですね。鉛筆の削り方や良い硬さ、消しやすい消しゴムなど様々なことを調べました。放課後や休日は少ないですが握りしめて文房具屋、本屋を回りました。詳しくなっていくうちに同級生も鉛筆に詳しい変な奴がクラスにいるぞ！という具合に私に興味を持ってくれ、友達が多くできましたね。それからというもの、私と文房具は切っても切り離せない関係になり、今に至ります。

室) そんなエピソードがあったんですね。

日本一文房具に詳しい記者と自負しております(笑)

室) 貴重なお話を聞かせていただき、今日は本当にありがとうございました！こちらこそ、ありがとうございました。

メンバー紹介



しゃかかーん編

生物資源学類1年の野中駿宏くん、通称しゃかかーんです！どうしてしゃかかーんというあだ名なのかは本人に聞いてみてください！！

普段から何事にも積極的な彼は、Tsukuba for 3.11の活動にも積極的にかかわってくれています。



おすすめスポット



今回のおすすめスポットはつくば市内の『公園』。お弁当を持ってピクニックをしたり、ほっと一息をついたり、公園は意外と生活に欠かせない存在のような気がします。私の好きなつくば市内にある公園をいくつか紹介しますね！！

まずは、桜にある「反町の森公園」。この公園は遊具などはありませんが、広々としており走って遊ぶのにはピッタリです。春には桜が咲き誇り、園内にある物見塔からは美しい景色を見渡すことができます。



次に天久保にある「松見公園」。園内には高さ 45 メートルの展望塔があり 360 度のパノラマを楽しむことができます。また、池や滝もありとても爽やかです。野生のうさぎがいることもあるんですよ！



最後は、二の宮にある「洞峰公園」。つくば市最大規模の公園で、スポーツ施設が充実しています。四季折々の樹木が立ち並んでおり、人だけでなく様々な生き物の憩いの場にもなっています。近くにはカフェやパン屋さんもあり、運動以外にもバードウォッチングやグルメなどなど、いろいろ楽しめます。

ぜひ、遊びに出かけてみてください！！

担当：オン碧

第二回食と酒東北祭り

日程 2015年10月17日(土)、18日(日)
時間 11:00 ~ 21:00
場所 つくばセンター広場
(ノバホール、アイアイモール前)

地酒一覧 (順不同、2015.8.12 日現在)

- ・あさ開 (岩手)
- ・酔仙 (岩手)
- ・出羽鶴 (秋田)
- ・桃川 (青森)
- ・弥右衛門 (福島)
- ・喜多の華 (福島)
- ・蒼天伝 (宮城)
- ・浪の音 (宮城)
- ・森乃菊川 (宮城)
- ・山形正宗 (山形)



↑ 第一回の会場の様子



食欲の秋！運動の秋！読書もいければ少しほろ酔いな秋！そうです、秋こそ外に出てイベントに参加するのにぴったりな季節なのです！体がうずうずしてきたな：そんなあなたに今回ご紹介するのは「食と酒東北祭り」。いわば、日本酒版のビアガーデンです。東北の美味しいもんがつくばセンター広場にずらりと並びます！もちろん、お酒が苦手という人やお子様も楽しめるよう、ソフトドリンクや東北自慢の美味しい郷土料理もたくさんございます。

このお祭りは東北を応援したい、という思いから企画されました。昨年の三月に第一回が開催され、のべ四千二百人の方々に参加して頂きました。今回は第二回ということで、会場の規模も内容も大幅にレベルアップ！コンセプトは「東北とつながるきっかけとなる場所」。東北六県から酒造店、食店舗の方をお呼びし、実際に皆様と交流する中でおいしいお酒やおいしい料理を堪能するだけでなく、お店の方々の人柄、方言、各県の魅力を心身ともに実感して頂くことができます。そしてなにより忘れてはならないのが東日本大震災から四年が経過した今、被災地域はどうなっているのか。どのような問題を抱えているのか。私たちにできることは何なのか。会場には、実行委員が見た東北の様子や現状をまとめた震災ブースが設けられています。そのほか、子供たちが遊べるキッズコーナーや一般団体、筑波大学のサークルによる演技がご覧頂ける特設ステージも設置されます。豪華景品がもらえるかもしれない、クイズ大会も開かれますよ！

ご家族、親しい人達と共に、またはつくばセンターの近くに立ち寄ったついででも、ぜひぜひ会場まで足を運んで頂ければと思います。実行委員一同、皆様のお越しを首をながくしてお待ちしております！

担当：黒田枝里

第二回 食と酒 東北祭り 十月十七・十八日開催！

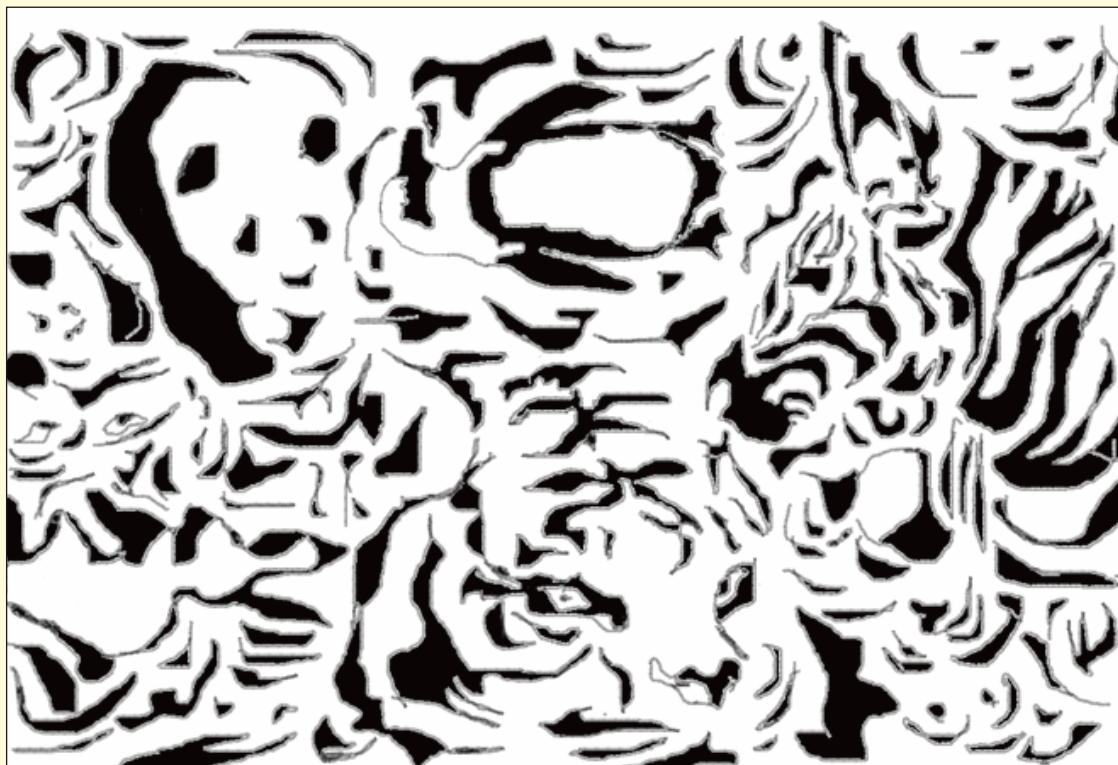
☆イベント紹介☆

頭の体操！

どうぶつ探し

夏休みに入り、
外出が増える時期ですね♪
今回は動物園をテーマに
「どうぶつ探し」を考えました。
図の中にどうぶつが5匹、
隠れています (*^^*)
つくしまを動かして、
様々な角度から
探してみてください！！

担当：菊池礼花



編集後記

編集長：瀧田溪吾

こんにちは！つくしま8月号を読んでいただきありがとうございます。
毎日厳しい暑さが続いていますね。皆さんも熱中症になったりしないように、健康に十分注意してください。
さて、この夏真っ盛りの8月は、過去に大きな出来事があった月でもあります。1945年8月15日には終戦記念日が、1985年8月12日には日航機墜落事故が起こっています。どちらも歴史に残る悲惨な出来事でした。
特に今年は、終戦後70年の節目の年として関心が高まっています。終戦後の焼け野原で、当時の人々は何を思ったのでしょうか。何よりもまず、失われた部屋の窓からの景色を、仲間とともに歩いた帰り道を取り戻したいと思ったという話を、私はある人から聞いたことがあります。戦争のない世界、永遠の平和、人がたくさん死んだりしない世の中もちろん願ったそうですが、それよりも前にもっと身近なことを思ったそうです。これは、東日本大震災の復興にも似たことが言えるのではないのでしょうか。
震災前の穏やかな日常の風景を再び取り戻せるように、私たちが微力ではありますが今後も役に立てたらと思います。

改めまして、今回のつくしま8月号を読んでいただき本当にありがとうございます。
次回のつくしまは10月に発行予定です。どうぞお楽しみに！！

ホームページ：<http://tsukubafor311.jimdo.com/>

Facebook：<https://www.facebook.com/tsukubafor311>

Twitter：@tsukubafor311